

鈴花の癒しタイム

2019年12月22日



企画.. f u m e
イラスト.. f u m e
シナリオ.. f u m e

目次

- 1 食事
- 2 お風呂
- 3 エッチ
- 4 朝チュン

・キャラ設定

鈴花（すずか）

クール系キャラだけどとてもやさしい。

知的で構ってくれる母性の高いキャラ。

お茶目になったり世話を焼いてくれたりする！

高スペックキャラ。20代前半

じゃんが口癖！

現実にいそうな人付き合いがとても上手い女性。

食事

（ドアを開ける音。部屋の中から元気よく頭をひょいっと出す鈴花。）

【前 40センチ】

あ、おかえり〜っ。

（ニコニコ笑いながら駆け寄ってくる鈴花。）

【前 20センチ】

今日も遅かったね。

たまには早く帰ってきてほしいんだけど。

私がいっぱい世話してあげるよ。

とりあえず着替えてきて。

……あ、

私がネクタイ取ってあげるね。

（優しそうな顔で貴方を見つめる鈴花。）

【前 10センチ】

今日も一日お疲れさまでした。

あなたが毎日頑張ってくれてるおかげで

私はいつも安心して過ごせてます。

だから、ね？

こうやって尽くしてあげるのは

至極当然の事なんですよ？

【右耳 5センチ】

あなたの望むことなら

私、なんでもやりますから。

ね？

今、心の底から思っている事を言ってください。

（6秒間の間）

（悪ふざけたような顔であなたを見つめる鈴花。）

【前 10センチ】

……二ヒヒッ

ね、何顔あかくしてんの？

もしかして……

エッチなこと考えちゃってる？

じーっ……。

アハハッ！

凶星だった？

本当可愛いよね。

いつも私と体重ねているのにさ……。

そういうウブな所全然抜けてないってのが……。

（少しモジモジして、目線を逸らす鈴花。）

なんか、その……

いいんだよね。

(照れ隠し気味にあなたの後ろに回り背中を押す鈴花。)

【後ろ 20センチ】

ほらほら、ご飯にしよう

はいはい、椅子に座ってっ！
着席っ！

【左 30センチ】

今夜もたくさん作ったから、いっぱい食べてね。

あ、私はもう先に食べたから気にしないで。

ん？これはねえ。

私が作った肉じゃかです。

どう？

おいしい。

うんうん。

素直でよろしい。

へっ？

こっちの鶏のから揚げもおいしいって？

(じーつとあなたを見つめ、ムムツとした表情になる鈴花。)

いや、それはレンチン食品なんですけど。
ちよっとお。

まさか私の手料理とレンチン食品、
区別がつかないんですか？

えっ？

…毎日ご飯を作ってくれるだけで
嬉しいから無理はしないで、か。

（照れながらも上機嫌になる鈴花。）

へへへっ！

て、照れるなあ。

あなたの胃袋は私のものですからねえ。

私がいないと生きていけない体にしてあげますからっ。

【前 20センチ】

…んふふっ。

んっ、何？

じつとこっちをみてどうしたのかって？

あ、いやね。

あなたのその・・・

おいしそうに食べる顔がさ、

私大好きなんだよね。

癒されちゃうわあ、ほんと。

えっ？

欲しいものがあるなら素直に言ってくれ？

もう、そんなんじゃないって。

本当のことなんだから。

（落ち着き、真面目な顔で語り出す鈴花。）

あなたといる、取り留めもない日常が大好き。

私でよければさあ、

ずっと世話してあげるよ？

んふふっ。

ねえ、何迷ってるのお？

素直に首を縦に振っちゃっていいんだよ？

遠慮しないでほら？

……もう、真面目君なんだから。

こないない女、

逃がしたら一生捕まらないぞお？

（真面目を通り越して、少し重い感じで口を開く。）

……マジでいつてるんだからね。

今日も全部食べてくれたね。

えらいえらい！

はい、お粗末様でした。

【左 40センチ】

あ、いいから。

私が片付けるからさ。

リビングで少しくつろいでいていいよ？

あとお風呂沸いているからさ、
落ち着いたときに入っちゃってね。

2. お風呂

（お風呂に入って体を洗っているあなた。
そこに鈴花が全裸で入ってくる。）

【後ろ 60センチ】

はいはいっ！

お背中流しに来ましたあ。

えっ、何々？

もしかして驚いちゃってる？

いつものことじゃん？

【後ろ 30センチ】

今日も一日疲れたでしょ？

その疲れ、私がとってあげましょう！

ほらほら、背中を向けてっ。

あ、タオルはどこにある？

……うん、ありがと。

洗っていくからねっ。

ゴシゴシっ。

どう？

気持ちいい？

……それはよかったあ。

ゴシゴシっ。

ゴシゴシっ。

うん。

とっても疲れているみたい。

筋肉が固くなってる。

【右 10センチ】

ね、ちよつと触ってみていい？

……うん。

素敵な背中。

すべすべしてる。

あははっ。

撫でまわしているこっちが気持ちよくなっちゃうわ。

もつともつと綺麗にしてあげますからね。

【後ろ 20センチ】

ん？

上司がいやだ？

またその話ですかあ？

今は私のことだけ考えてほしいんですけどお。

こんなにかわいい女の子がお風呂に一緒してるんだよお。

もう……。

んふふっ。

（甘々で包容力のあるお姉さんのような口調で）

【右 5センチ】

そんなにいやだったらあ……

お仕事、やめちやってもいいんですよ？

私があなたを養ってあげますからねえ。

いっぱい、いっっぱあい甘えちやっていいんですよ。

ほら、やめちやいませよ？

今のお仕事？

（いつもの鈴花に戻る。）

【後ろ 20センチ】

ね、少しは楽になった？

……えっ？

仕事、本当にやめちやうの？

やめて私にいっぱい甘える……？

いやいや、待て待て。

今の冗談だからっ。

お仕事やめられると私困っちゃうからっ。

お金はどうするの？

というかあなた、生活費カツカツだよね？

家計全部把握しているけど、

収入と支出のバランス明らかにおかしいよ？

うん……。

もう少し趣向を変えてみましようか。

(メスガキのような、煽りつつ甘えるような感じで。)

【左 5センチ】

私にいっぱい貢いでっ。

もつともつともおつと稼いできてっ。

諭吉さん。

全然足りないよお。

あと一枚。

そう。あと一枚くれるだけで

とおつてもいい事してあげるっ。

ほらっ。

明日もお仕事頑張らないと。

私のために……。

私だけのために、

たっくさん働いてねっ。

(いつもの鈴花に戻る。)

【後ろ 20センチ】

どうどう？

元気出ましたかっ？

えっ？

……さつきの方が癒される？

もおっつ。

ほんとしようがない人なんですからあ。

わかりましたっ。

背中ゴシゴシしながら、

脳みそとろとろにさせてあげますからねえ。

ふーっ。

ほらあ。

力を抜いてください。

リラックス、リラックスう。

(甘えるような感じで)

【右 5センチ】

お仕事やめちやって……。

二人で旅にでちゃいましょうか。

窮屈で忙しい日常を忘れられる所がいいよねえ……。

うーん。

ほらほら。

物価が安くてさ、

海が綺麗で建物もこじやれている所があつたよね？

ああっ！

セブ島、セブ島。

友達聞いたんだよ。

あそこはマジでいいよって！

この世の楽園だなんて言ってた！

ね？

ちよつと高いけどさ……。

私にセブ島旅行をプレゼントして？

……いや、違うなあ。

二人で一緒にいこ？

半分私が出してあげる。

絶対面白いって。

(いつもの鈴花に戻る。)

……うん。

とってもいい顔。

元気でたみたいだね。

よかったよかった。

【後ろ 30センチ】

お背中ながしまあす。

はい、綺麗になりました。

うん。とってもさっぱりしたね。

そうだ。

チンチン洗ってあげよっか？

んん？

……いやいや、そんな驚かないでよつ。

毎夜毎夜、体を重ねてるんだから恥ずかしがらないの！

あ、コラっ！

こっち向きなさいっ！

【前 20センチ】

おやつ。

おやおやつ！

ちよつとこれはあ……。

見事に勃起してますねえ！

……ふふっ！

あはははははっ！

い、いや。

ごめんね。

さつきとってもいい雰囲気を作って、
心を癒したと思ったんだけどさあ。

私の囁きでチンポギンギンにしちゃっていたんだ。
本当、どうしようもない人ですねっ。

大丈夫、大丈夫。

落ち込まないで。

あなたが望んでいる事、
ちゃんとしてあげますからねえ。

チンポさん、触りますよお。

うふっ。

とってもギンギン。

洗っていきますねえ。

ここが……カリ。

こっちが裏筋い……。

女の子の手でチンポさん洗ってもらえるなんて
とっても贅沢な人。

私に感謝してくださいね。

……むっ。

浮ついた顔がなんだか気に食わないなあ。

そんな子にはお仕置きい。

それ。

シコっシコっシコっ。

うふふっ。

気持ちよかったんだ？

ビクってなった所かわいいつ。

お楽しみは後に取っておきましょうか。

【前 40センチ】

……はい。

全部洗い終えましたよお、あなたのおチンポさんっ！
体も冷えてきたから湯舟に入っちゃいましょうか。

【左 50センチ】

ほら、先に入って入ってっ！

どう？

気持ちいい？

ふーっ！極楽極楽うって顔してるっ。

はいはい、私も入りますから詰めてくださあゝい。

【左 20センチ】

それ、ざぶーん！

【左 10センチ】

あーっ！

ぽっかぽかあ！

今日も一日お疲れさまでしたっ！

どう？

仕事終わりのお風呂は最高ですかあ？

こおんなかわいい女の子と一緒に入ってあげているんですよ。

もっと褒め称えてもいいんですよ？

うんうん。

素直でよろしい。

ほんと、いいバスルームだね。

二人で入るには丁度いい大きさでさ、

とっても綺麗なところがいいよね。

毎日毎日一緒に入っているから実感わかないと思うけど。

これ、本当にかけがえのないひと時だからね。

【左 0センチ】

二ヒヒっ。

それっ。

うんっ。

おチンポさん。

まだ勃起していらっしやる。

今夜はとつても期待できそうですね。

【左 5センチ】

でもでもっつ。

私がいっちばん大好きなのは……。

あなたのこのお腹あ。

ねね、どうしてこんなにぷっくりと膨らんでいるのかな？

私が毎日、健康的な料理を振舞ってあげているのに……。

フフッ。

気持ちいいんだ。

お腹を撫でまわされて。

それっ。

ぷにぷにっ。

ぷにぷにっ。

【左 0センチ】

それじゃ、あったまるまで、ずっと入っていよっか。

貴方が満足するまでお供しますよっ。

エツチ

（お風呂から上がり、寝室に入るあなたと鈴花。）

【前 40センチ】

はいはいっ！

お楽しみのお時間ですよ！

先にお布団に入っていてね。

私、着替えてきますから。

（寝室から出ていく鈴花。）

【前 60センチ】

あっ？

お布団ふかふかでしょ？

今日は快晴だったから物干しが捗っちゃいましたっ。

入った？

うん。

準備OKだねえ。

電気消すよお。

よおしっ。

ちよつとだけ、待っていてね。

ささつと着替えてきますからっ。

（隣の部屋で着替え始める鈴花。）

……えーつと。

あったあった。

……むむむつ。

やっぱこれ、恥ずかしいなあ。

（再び、寝室に入る鈴花。）

【前 50センチ】

も、もどりましたあ。

私も入りますねっ。

（布団に入る鈴花。）

【前 30センチ】

それそれそれっ。

【前 5センチ】

ふふっ。

顔が近いっ。

今日は何の服着ていると思います？

当ててみてっ？

(体を触られて喘いしまう鈴花。)

んっ。

ふうっ！

おしりと胸、まさぐりすぎっ。

んっ？

とっても肌触りがいい？

それは良かったっ。

前からサテンのボディコン、

着てほしいって言っていたでしょ？

そんなあなたの要望にお応えしましたあっっ。

ふふっ。

感謝してくださいよ？

……へっ？

よく触ってみたらスカートの丈が短すぎるし、

背中も胸も大きく露出しているようなデザインみたいだから

灯りをつけて存分に見てみたい……？

だ、ダメダメっ！

こ、これはエッチ用だからっ！

観賞用じゃないからっ！

触って楽しむものなんですっ！

ね、勘弁して？

……うん。

分かってくれたみたいでよかった。

じゃあ、始めるねえ。

今日もいっぱい気持ちよくなろうねっ。

(あなたにぎゅっと抱きつく鈴花。)

【右 5センチ】

はーい。

抱っこぎゅーっ。

今日もあったかいね。

ぽっかぽか。

心臓の鼓動が体から伝わってくるよ。

【右 0センチ】

ふうーっ。

んふふっ。

耳に息をかけたただけなのに、ビクビクってしちゃって。

かわいいっ。

ほおら、力を抜いて。

私に全て委ねて。

ね？

ちゅっ。ちゅるるるるっ、ぐちゅるっ！

くちゅっ！じゅるるるるっ！

ぐぽっ！ちゅっ、ちゅっ。ちゅううううっ！

んふっ。ちゅぷっじゅるるっ。ぷはっ……。

耳舐め、気持ちいい？

うぶ。

すっごい顔ですよ？

もつともつともしていきますねえ。

ちゆるるるるる！

じゅふっ！じゅふっ！ぶちゆるっ！

れろれろれろじゅぶじゅつぷく！

ちゅぱっ！ちゅちゅうううっ！はあむ。

んはあつ。ちゆるつじゆるるるつ！

へ。ろ。へ。ろ、れろゝつちゆつ。

じゅるっじゅるるるずりゅっ！ぐぽぐぽぐぽお！

レロレロっレロレロっちゅ、ちゅぽぽっ！

くちゅううつ！んつ。はあく……。

【右 5 センチ】

ごちそうさまでしたつ。

どう、よかった？

あらあら。

とっても素敵なお顔。

か
わ
い
い。
○

キスしてあげる。

【前 0センチ】

んちゅっ。

ちゅーっ。んむっ。

ちゅっちゅっ。

ぷはっ。

ほら、舌を出して？

んふふっ。

じゅぷっ。じゅるるるっ！

ちゅぱっ！ちゅうううううっ！あむっ。

じゅるっ。じゅううっ！じゅぷぷっ！

ぐぼっ！んんっ…………。

くちゅっ。じゅるっじゅるるるっ！

……はぁ。

今日も濃厚なベロチュー頂きましたっ！

ちゃんと責任とってくださいよ？

こんなデープキス大好き女に仕込んだのは

あなたなんですからね？

毎夜毎夜、これでもかというくらいキスして……。

あなたの性癖、完全に染み付いちゃったんですよ？

【前 20センチ】

よいしょっ。

おチンポさん、準備○だね。

ほらほら、パンツ越しからこすってあげようっ。

すりすりっ。

すりすりっ。

んふふっ！

すっごい顔してるよお。

サテンの肌触りが亀頭に当たってたまらないのお？

ほおっっ。

それはよかったじゃ〜ん。

気が済むまでこすってあげますからねえ。

すりすりっ！

すりすりっ！

こすこすっ！

こすこすっ！

んっっ。

とっても切ない顔っ。

効果は抜群のようですねえ。

……あの。

盛り上がっている所悪いんだけど……。

私の大切な所も愛撫してもらえます？

【右 0センチ 囁き】

どうです？

私の大切なところっ。

あなたのおチンポさんを受け止める、

大切な大切な所っ。

んくっ！

【右 5センチ】

早く入れたいんですねえ。

とっても気持ちいいですからねえ、私のオマンコ。

おチンポさん、とろっとろにとろけちゃいますから。

私と早くつながりたい？うふふっ。

本当、素直なんだから。

(あなたに愛撫される鈴花。)

んああっ！

ま、前よりも上手くなってるう！

私の弱いところお、完全に把握されちゃってるう！

んんっ！そ、そのままっ！

そのまま続けてっ！

……んくうっ！

あああああっ！

はあーっ。はあーっ。

【前 5センチ】

素敵な愛撫でしたっ。

オマンコぐちやぐちやつ。

これならすんなり入れられるね。

（あなたに跨る鈴花。）

んしょっ。

あ、ダメ。動かないで。

私のペースで入れさせて。

亀頭とオマンコがキスしてる。

ふふっ。

さきっぱ、完全に入っちゃった。

ほらっ……。

ゆっくりとだけとおチンポさんが私の中に入っていく。

感じてる？

私の中。

ぽかぽかしてあったかい？

あなたのチンポはあつつくてビクビク動いちゃってるねっ。

んくっ……。

全部入りましたっ。

本当、私たち相性がいいよね。

ちゃんと子宮まで届いているよ？

貴方のチンポさん、ノックしてるね……。

ここにぴゅっぴゅっ……って出したいんだよね。

いいよっ。

遠慮せずに全部出して。

こうやって……ゆっくり……。

ゆっくり焦らす様に動かしてあげる。

……ん。

今の。

気持ちよかったんだ。

そっか。

ここが弱点なんですネっ。

ほらっ。

んふふっ。

腰を使って先っぽを虐められるのが大好きなんだねっ。

【左 5センチ】

耳舐めしながら、虐めてあげたら一体どうなるんだろう？

【左 0センチ】

じゅぷっ！じゅぷっ！

ぶちゆるっ！れろれろれろじゅぶじゅっぷっ！

ちゅぱっ！ちゅちゅうううっ！はあむ。

んはあっ。ちゆるっじゆるるるっ！ペロペロ、れろっちゅっ。

じゆるっじゆるるるずりゅっ！ぐぼぐぼぐぼお！

レロレロっレロレロっちゅ、ちゅぽぽっ！

くちゅうううっ！んんっ。はあ……。

【左 5センチ】

うん。

身も心もとろけちゃったかなあ、これは。

……にひひっ。

意識飛んじやっているうちに一番おいしい所、
一人で堪能しちゃいますかねえ！

【前 5センチ】
ね。

おチンポさんに意識を集中して。
こすこすって……。

ストロークされて気持ちいいでしょ？

脳みそももともつと気持ちよくなろうねえ。

ふう。

うふふつ。

私の吐息でとろとろになっちゃいますねえ。

【右 0センチ】

ちゅつ。ちゅるるるるつ、ぐちゅるつ！

くちゅつ！じゅるるるるつ！

ぐぽつ！ちゅつ、ちゅつ。ちゅううううつ！

んふつ。ちゅぷつじゅるるるつ。ぷはっ……。

【前 5センチ】

おいしつ。

うふふつ。

我慢しなくてもいいんですよつ。

あなたのあつつい精液、たくさん出してくださいっ。

ほおらつ。もう我慢の限界なんでしょ？

貴方の全て、把握しているんですからねつ。

はあゝつ。

チンポさんビクビクしてきたっ。

びゅーびゅーしたいって大きくなってきてる。

さあ、出してくださいっ！

一滴残らずこの私の子宮につ！

(射精SE)

びゅっびゅっびゅっ。

ぴゅるるるるっ。

びゅっびゅっ……ぴゅっ……。

トクンっ……。トクンっ……。

んんっ……。

全部受け取りましたよ、あなたの精液い。

私の子宮がたっぷり満たされてますよお。

ふうっ。

これ、大好きい。

あっ。

気が付いた？

今日も意識が飛んじやっている間に、

射精させておきましたからっ。

怒ってる？

ごめんごめんっ。

でも……。

とっても気持ちよかったですよ？

うんうんっ。

よかったよかった。

あ、待って。

まだ抜かないで。

私ね、腰を動かすのもすっごく好きだけどさ……。

この、挿入したままじっと動かないで……

抱き合ったままなのも好きっ。

体だけじゃなくて心まで繋がった感じがしてさ……。

このために生きてきたんだって思えちゃう。

こうしているとね……。

もっともつとわかるような気がするの。

普段は喋ってくれない、心の奥底の悩みまで……。

【右 5センチ】

あなたの悩みや不安……

私に全て共有してくれますか？

その悩みと不安を解決したい。

幸せな日々を共に過ごしたいの。

【前 5センチ】

なんか……真面目な話しちゃってごめんね。

でも……これは本当の気持ちだからね。

ずっと忘れないで覚えていてほしいなっ。

……またお風呂入って、眠りましょうか。

いつもみたいに添い寝してあげるからさ。
ね？

(雀が鳴いているS E。)

(同じ布団で眠っているあなたと鈴花。目覚める鈴花。)

【左 20センチ】

ふはああ！

んゝ……。

おはよう！

あゝつ。

今日もとっても天気がいいねつ。

んつ。

ちよつと……。

まだ眠いよお。

もうちよつとだけ寝ていようよ。
ね？

【左 0センチ】

私と一緒にいたいでしょ？

んふふつ。

……。

……あゝつ。

この二度寝しそうでしない……

まどろんだ意識であなたと抱き合うの最高お。

ずうゝつとこうしていたいよお。

【左 5センチ】

んんっ……。

もうっ。

なんですかあ？

時計をみろお？

【左 20センチ】

……っ！？

あ、やばっ！

もうこんな時間じゃん！

これ、完全に遅刻コースっ！

どうして目覚ましならなかったのおっ！？

（ガバツと起きる鈴花。）

【前 30センチ】

ほらほら、起きて！

起きてくださいっ！

もうっ！

こんな悪い子にはこちよこちよしちやうぞ、それっ！

あははははっ！

お腹の横お、ほんっと弱いよねえっ！

【後ろ 60センチ】

あ、服はいつもの所にありますから。

ちよっとう……。

まだですかあ？

もー！

私が着せてあげるからー！

【前 10センチ】

ズボンとワイシャツはできたんですねっ。

はい、ネクタイネクタイっ。

ん？

ご飯抜き？

せめてこれだけは持っていてください。ね？

……携帯ゼリー食。

はい、ネクタイよしっ！

ん。かつこいい。

んふふっ。

これ、上着ね。

【右 30センチ】

ほらほら、歯を磨いてくださいー！

はい、歯ブラシ。

ちゃあんとしっかり、磨いてねっ。

（隣の部屋に行く鈴花。）

【右 60センチ】

ジャケットとカバンはどこに置いたんですかあ？
もおうつ！

この私をここまでテンパらせるなんて……

あなた以外にいないんですからねえ！

あつたあつた！

【前 10センチ】

はいはいっ！ジャケット着せてあげるからっ！
トイレ？

うゝん、残念っ！

そんな時間はありませんっ！

最寄りの駅でお願いしますうつ！

磨き終わりました？

はい、洗面所、洗面所！

【後ろ 20センチ】

しつかりうがいしてねっ！

はい、よし！

玄関玄関！

【前 20センチ】

……この時間ならギリギリ間に合いそうだねっ。

今日も一日頑張りましょうっ。

いってらっしゃいっ！

む？

キスしてほしい？

もうっ！

しょうがないなあっ。

【前 0センチ】

チュッ。

【前 5センチ】

今夜は素敵なプレゼントを買って早く帰ってきてね、
あなたっ。